

新知事就任

塩田 康一 鹿児島県知事



県庁舎 1 階エントランスホールにて職員らに拍手で迎えられる塩田知事



8月11日新型コロナウイルス感染症対策に係る福祉関係団体との意見交換会



8月6日令和2年7月豪雨災害現地視察



7月28日就任記者会見

誠実に、着実に

— みんなでつくる

鹿児島島の今と未来 —

鹿児島を変える8つの柱に沿って、次の新しい鹿児島をつくる取り組みを進めてまいります。



1 新型コロナウイルスへの対応

- コロナ対策を最優先にした財政出動
- コロナウイルス感染防止対策と医療体制の確保
- コロナウイルスの影響を克服する強力な産業支援

2 脱原発に向けて

- 原発に代わる再生可能エネルギーの導入促進、蓄電池の普及促進と省エネの徹底
- 3号機の増設は凍結
- 20年の運転延長については、その可否について徹底的に科学的、技術的検証を行うとともに、県民の意向も把握しつつ厳正に対応

3 アジア中核都市の実現

- コンベンション機能の強化
- 鹿児島島の伝統と文化が息づく街づくり
- 交通インフラの充実
- 若者の交流促進
- 外国人受け入れ基盤の充実
- 貿易・投資交流の促進
- 芸術・スポーツの振興 など

4 県民が安心できる行政づくり

- 県民との対話と行政プロセスの適正化
- 県民サービスの向上
- 防災・危機管理の充実
- 総合体育館問題など市町村との連携強化 など

5 県民が豊かになる産業振興

- 農工商連携による新商品開発、販路開拓、鹿児島ブランドの一層の確立等農林水産業のさらなる振興
- 鹿児島島の地域資源を活かした観光のさらなる振興、PR
- 地域経済を牽引する中堅・中小企業支援
- 新たな産業の創出、起業支援 など

6 優しく働きやすい福祉の実現

- 健康寿命の延伸
- 介護 福祉の充実
- 子育て支援
- 高齢者や女性 障がい者、外国人など多様な人材の活躍支援 など

7 鹿児島島が誇れる人づくり

- 郷土教育の充実
- インターシップの充実
- 国内外からの人材誘致
- 事業承継の促進 など

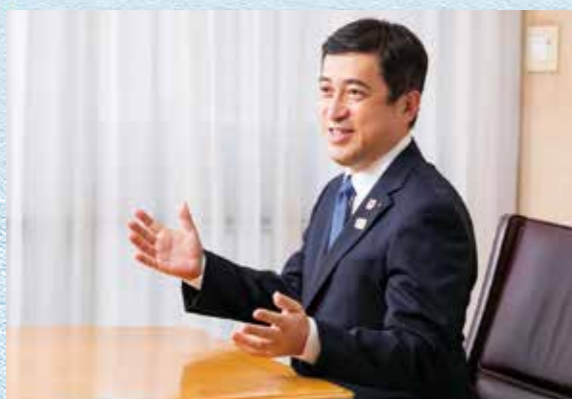
8 多様な魅力を持つ離島は、鹿児島島の宝

- 離島の魅力の情報発信
- 交通アクセスの課題への取り組み
- エネルギー問題の解決
- 安心して暮らしている医療体制の整備
- 特産品の開発や販路開拓 など



PROFILE

塩田 康一 (しおた こういち)



【生年月日】 昭和40年10月 鹿児島市生まれ
 【略 歴】 ラサール中・高卒、東京大学法学部卒
 昭和63年4月 通商産業省入省
 熊本国税局入吉税務署長、在イタリア日本国大使館一等書記官、経済産業省官房審議官などを歴任
 平成30年6月 九州経済産業局長
 令和元年12月 経済産業省退官
 令和2年7月 鹿児島県知事就任
 【趣 味】 焼酎
 【座右の銘】 日新公いろは歌
 【家族構成】 妻・一男一女

就任にあたって

このたび、鹿児島県知事に就任いたしました塩田康一です。

就任式等を終え、改めて知事としての責任の重さを感じているところです。県民の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、ご期待に応えられるよう、その職責を果たしてまいります。

今、鹿児島県では、新型コロナウイルス感染症と令和2年7月豪雨災害への対応が喫緊の課題です。新型コロナウイルス感染症に関しては、医療提供体制の充実を図るとともに、感染拡大防止策を徹底してまいります。また、大きな影響を受けている産業への支援を行いながら、社会経済活動を進めてまいります。7月豪雨災害に関しましては、早期の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

さらに、人口減少時代を迎えつつある中で、国際情勢、経済情勢などが著しく変化しており、今後も、ふるさと鹿児島が持続的に発展していくためには、情勢の変化に適応しながら、基幹産業である農林水産業、観光関連産業のさらなる振興と、高い技術力を持つ製造業、情報サービス業、ヘルスケア産業など、新たな産業を興していくことが必要です。若い人達が働く場をつくってまいります。これを基盤として、高齢者や女性、障がい者、子ども達、あらゆる方々が生き生きと活躍し、暮らしていける鹿児島をつくってまいります。

「県民の皆さまと」しよに鹿児島島の今と未来をつくる」ということを基本に「誠実に」「着実に」県政に取り組んでまいります。

皆さまのご理解とご協力をたまわりますようお願い申し上げます。